

第 1 回～第 3 回審議会での主な意見(要旨)

主 な 意 見 の 要 旨	対 応
1 基本構想(素案)の各項目に関する意見	
<p>(1) 市民として主体的な努力をしていく方向性(ビジョン)を考える(「都市像」)</p> <p>①「都市像」の「人・まち・みどり～」には、「人とみどりとの関係」を見直し、協働をどのように行っていくのかについて、本気で議論していく覚悟、さらには本気で取り組むという覚悟が必要。</p> <p>②我々はこれからこういうことを大切にします、こういう豊かさを求めていきます、ということの基本構想に入れることによって、鹿児島市民の 10 年後に対する熱い想いが、責任とともに出てくるものと思う。</p> <p>③今の時代に行政にいろいろと要請するということは、後の世代に多大な借金を残すということであり、そこを考えて、やはり市民でできることは市民でやるという意識を一人ひとりが持つ必要がある。</p>	<p>・基本構想の「都市像」(文章)の他に「都市像に掲げる“豊かさ”の説明内容を追加 →「人」、「まち」、「みどり」の豊かさとは何か、「みんなで創る」とはどういうことかの内容を記載(左記の意見を踏まえた内容を記載)</p>
<p>(2) 国内外の競争を見据えて、対外的に発信する都市を目指す(「都市像」など)</p> <p>①「都市像」を考える際のポイントは、「住むまちとして鹿児島市をどうするか」と「外部から見て鹿児島にどのようにあってほしいか」の 2 つではないか。</p>	<p>・基本構想の「都市像」(文章)の他に「都市像に掲げる“豊かさ”の説明内容を追加 →「人」、「まち」、「みどり」の豊かさとは何か、「みんなで創る」とはどういうことかの内容を記載(左記の意見を踏まえた内容を記載)</p>
<p>(3) 特色ある都市のイメージや方向性を強く打ち出す(「都市像」など)</p> <p>①「桜島がどこからでもきれいに見えるまちづくり」を進めれば、一歩足を踏み入れた時に「鹿児島は自然を大切にしているまち」という市民の意志が感じられるのではないか。</p> <p>②錦江湾や甲突川の水に直接触れる体験ができる場をつくるのが大切。</p> <p>③緑を中心に据え、街中に癒される、老人たちも憩える空間、例えば、「みどりの中に街がある」「小鳥のさえずる街」のようなものを目指してもよいのではないか。</p>	<p>・基本構想の「都市像」(文章)の他に「都市像に掲げる“豊かさ”の説明内容を追加 →「人」、「まち」、「みどり」の豊かさとは何か、「みんなで創る」とはどういうことかの内容を記載(左記の意見を踏まえた内容を記載)</p> <p>・「豊かさ実感リーディングプロジェクト」の「“花と緑の回廊”環境創出プロジェクト」に左記の意見を踏まえた内容を記載</p>
<p>(4) 分かりやすい総合計画の体系について(「総合計画の体系図」など)</p> <p>①市民にまず知ってもらうためにはできるだけ詳しくというより、できるだけ分かりやすくということに視点を置くことが必要。</p> <p>②「都市像—基本目標—基本計画」と「都市像の核となる視点—戦略テーマ—戦略プロジェクト」という「つくり」自体が分かりにくい。</p> <p>③(今と 10 年後は)豊かさも変わる、豊かさを実現する手段も変わる、違う豊かさをどこで示すか。「基本構想」は、市民の決意とか原則ということであり、基本構想で示したこと外れることはしないという枠組みが必要。</p>	<p>・総合計画の体系図を修正 (左記の意見を踏まえ、より分かりやすく記載)</p> <p>・基本構想の「都市像」(文章)の他に「都市像に掲げる“豊かさ”の説明内容を追加 →「人」、「まち」、「みどり」の豊かさとは何か、「みんなで創る」とはどういうことかの内容を記載(左記の意見を踏まえた内容を記載)</p>
<p>(5) 「基本目標」のあり方(「基本目標」)</p> <p>①6 つの基本目標について、この中での優先順位はないのか。「信頼・協働政策」が、今回は基本目標の 1 つとなったという説明があったが、ここが今回のメインテーマとなるのではないか。この位置づけは再度検討したほうがよい。</p> <p>②「信頼・協働政策」は、市民がまちづくりの当事者でもあることを示し、そういう仕掛けをもっとつくっていくことが重要という意味から、もっと強調してもよいのではないか。</p> <p>③6 つの基本目標は、(1)一定の経済的な豊かさを実現する(観光を中心に取り組むなど)、(2)環境問題に取り組む(世界的水準を目指す)、(3)福祉や教育の取組を進める、という 3 つに分けられるのではないか。</p>	<p>・総合計画の体系図を修正 (左記の意見を踏まえ、「市民と行政が拓く 協働と連携のまち」の位置づけを変更)</p> <p>・基本構想の「都市像」(文章)の他に「都市像に掲げる“豊かさ”の説明内容を追加 →「人」、「まち」、「みどり」の豊かさとは何か、「みんなで創る」とはどういうことかの内容を記載(左記の意見を踏まえた内容を記載)</p>

主な意見の要旨	対応
<p>(6) 戦略テーマ、戦略プロジェクトのあり方（「戦略テーマ」、「戦略プロジェクト」）</p> <p>①「戦略」という言葉が少し分かりにくい。</p> <p>②基本目標が戦略テーマのようなもので、基本計画自体がまさに戦略プロジェクトになるのではないか。</p> <p>③「戦略テーマ」及び「戦略プロジェクト」の位置づけについて一定の整理をすべき。</p> <p>④実施計画に至るまで、常に戦略テーマを考えながら進めていかななくてはならない。</p> <p>⑤戦略テーマ、戦略プロジェクトは、市民生活の課題に対応したベーシックなことを押さえ象徴するものだとすれば、少し議論が足りないのではないか。「特に」というところに絞るのであれば、「食」関連のプロジェクトなどは面白い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画の体系図を修正 （左記の意見を踏まえ、「都市像の核となる視点」及び「戦略テーマ」を削除） ・基本構想の「都市像」（文章）の他に「都市像に掲げる“豊かさ”」の説明内容を追加 →「人」、「まち」、「みどり」の豊かさとは何か、「みんなで創る」とはどういうことかの内容を記載（「都市像の核となる視点」及び「戦略テーマ」の内容を織り込んで記載） ・「戦略プロジェクト」→「豊かさ実感リーディングプロジェクト」に変更 ・基本計画（素案）の「豊かさ実感リーディングプロジェクト」の内容について、審議会でご議論いただく
2 総合計画策定の基本に関わる意見	
(1) 10年先さらにその先を見据え、考え、整理しておくべきこと（過去の延長線上ではない環境変化への対応）	
<p>①政治、経済、社会の不安定な状況の継続、産業構造の転換、アジア諸国における日本の地位低下、温暖化被害の顕在化、少子高齢化や人口減少、まちづくりの理念の変化（市役所の役割変化）などを踏まえることが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画全体として踏まえて策定していく ・経済の状況などについては、基本構想「時代の潮流」の表現内容を修正 （「少子高齢化の進行と人口減少社会への移行」について、「・また、近年の景気低迷に加え、今後においても、人口減少等に伴う国内消費の縮小により、経済の大幅な伸びは見込みにくい状況にあります。」を追加）
(2) これからは「選択」が重要	
<p>①掲げたものを同時には達成できないことを前提に、市民としてどういう尺度で優先順位を決めていくのかという価値基準を、市民の覚悟としてつくっていくことが必要。（ただしオールオアナッシングではなく）</p> <p>②「市役所ができることはここまでであり、市民みんなで一緒になってこういう社会を目指そう」ということを基本構想で示し、それを意識して基本計画、実施計画にブレイクダウンする必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画全体として踏まえて策定していく
(3) 長期的視点に立った方向性が必要	
<p>①50年後を見据えて、何が鹿児島にとって重要かということに気付き、それを目標として掲げて今から取り組むことによって変わってくるものである。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・総合計画全体として踏まえて策定していく
(4) 「市民に分かりやすい計画」と「行政にとっての計画」とのバランス	
<p>①総合計画は市の各部署のための10年計画か、市民のための10年の計画か。</p> <p>②行政サイドの必要とする計画と、市民が求める計画とは、バランス的なものが求められる。</p> <p>③実施計画の中で、どの部署が担当しているのか、市民が市役所のどこに対応を求めたらよいか分かるようにすることが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想の「都市像」に「都市像に掲げる“豊かさ”」を追加し、市民にとって「あるべき将来のまちの姿」をイメージしやすいものとしていく ・同時に、基本計画以下では「実現のための方策（施策や事業）をどのように展開していくか」という部分も体系的に分かりやすいものとしていく（実施計画での担当部署の明示を含めて）
3 その他	
(1) 目標指標を分かりやすく	
<p>①イメージしやすい指標設定、鹿児島らしい目標設定が必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画（素案）の「目標指標」について、審議会でご議論いただく
(2) 総合計画の推進体制の明示（あり方を含めて）	
<p>①市民が参画して、策定後の総合計画をウォッチしていく推進体制が必要。（それが、6つ目の基本目標「市民と行政が拓く 協働と連携のまち」の一つの具体的な形となるものであろう）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後検討していく
(3) 現計画の検証を踏まえた、新たな計画の策定	
<p>①現計画の達成度を評価し、それを前提として計画策定を行うことで連続性が出てくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現計画の検証結果（進捗状況）をお示しながら、審議会でご議論いただく